

エコアクション21

環境経営レポート

2023（令和5）年度

運用期間 2023年7月1日～2024年6月30日



株式会社興枙建設

2024年7月31日 発行

【 目 次 】

表 紙	… 1
目 次	… 2
1. 事業概要	… 3
(1)事業者名及び代表者名	
(2)所在地	
(3)環境管理責任者及び事務局及び連絡先	
(4)事業創立年月日	
(5)事業活動の内容	
(6)適用事業範囲	
(7)事業規模	
(8)推進組織図	
2. 環境経営方針	… 4
3. 環境経営目標	… 5
4. 環境経営目標の実績	… 6
5. 環境経営計画とその取組結果及び評価	… 7
6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	… 8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	… 9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	… 9

1. 事業概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 興 梶 建設
代表取締役 興 梶 俊 茂

(2) 所在地

事業所(本社) 〒882-1102 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字押方950番地2
資材倉庫 〒882-1102 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字押方955番地

(3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡先

E A21 責任者： 常務 興 梶 裕 昭

E A21 事務局： 佐藤 哲 也

連絡先 連絡担当者： 佐藤 哲 也

TEL：0982-72-2321 FAX：0982-72-6738

E-mail：info@kouroggi.co.jp

(4) 事業創立年月日

昭和29年4月〔創立より70年〕

(5) 事業活動の内容

【宮崎県知事 許可(特-3)第1406号】

土木工事業

【宮崎県知事 許可(般-3)第1406号】

建築工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 塗装工事業

造園工事業 水道施設工事業 解体工事業

(6) 対象範囲 (全組織・全活動)

組織・・・事業所(本社)、資材倉庫

活動・・・(5)事業活動のすべて

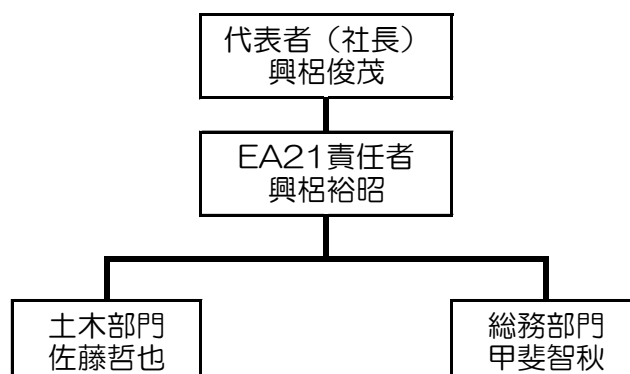
レポート対象期間・・・表紙に掲載

レポート発行日・・・表紙に掲載

(7) 事業規模

項 目	単 位	2020年	2021年	2022年	2023年
従業員数	人	22	19	19	19
床面積(本社)	m ²	150	150	150	150
床面積(資材倉庫)	m ²	158	158	158	158
工事件数	件	18	25	36	33

(8) 推進組織図



2. 環境経営方針

環境経営方針

Environmental management policy

株式会社興梠建設は、ますます深刻化する地球温暖化の進行している今、次世代に美しい地球環境を引き継ぐために、建設工事の事業活動における環境負荷の低減を図るために、社員一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動への取組に貢献します。

【環境保全への行動指針】

1. 建設工事に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。
 - ①電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ②事業活動工程から排出される廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の取組み
 - ③節水活動による水使用量の削減
2. 経営の仕組みを「環境経営システム」へと進化させ、その継続的改善を図るために「人材の育成」と「環境力の向上」に取り組みます。
3. 地域貢献活動とともに周辺住民の生活環境への配慮及び快適な現場環境づくりに努めます。
4. 関連する環境の法規則を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
5. 環境保全に関する啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。
6. 環境に配慮した施工の推進により、環境負荷の低減に努めます。

この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に公表します。

改定日： 2020年8月1日

改定日： 2019年8月1日

改定日： 2012年8月1日

制定日： 2011年6月17日

 **株式会社興梠建設**
代表取締役 興梠 俊茂

3. 環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。

なお、目標設定の基準は、3年間(2020年7月～2023年6月)の実績の平均使用量を使用しています。

取組み項目 目標項目（単位）		実施区	年度別環境目標			
			基準値 過去3年間(2020 年07月 ～2023年06月) の平均使用量	2023年度 (2023年07月～ 2024年06月)	2024年度 (2024年07月～ 2025年06月)	2025年度 (2025年07月～ 2026年06月)
省エネ エネルギー項目	1 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		削減率⇒	1.5%削減	1.8%削減	2.0%削減
		事務所	7,335	7,225	7,203	7,188
		現場	129,813	127,866	127,476	127,217
		全社	137,148	135,091	134,679	134,405
	①電力使用量の削減 (kWh)		削減率⇒	1.5%削減	1.8%削減	2.0%削減
		事務所	12,296	12,112	12,075	12,050
		現場	7,390	7,279	7,257	7,242
		全社	19,686	19,391	19,332	19,292
	②ガソリン使用量の削減 (L)		削減率⇒	1.5%削減	1.8%削減	2.0%削減
		事務所	1,100	1,084	1,080	1,078
		現場	10,550	10,392	10,360	10,339
		全社	11,650	11,476	11,440	11,417
	③軽油使用量の削減 (L)		削減率⇒	1.5%削減	1.8%削減	2.0%削減
		全社 (現場)	39,714	39,118	38,999	38,920
2 廃棄物の削減	①一般廃棄物（最終処分量）の削減 (kg)	全社	256.5	252.7	251.9	251.4
	②建設副産物の再資源化率の向上	現場	再資源化率 95%以上	環境経営計画を遵守し 再資源化率95%以上を目指す		
3 水資源使用量の削減 (m ³)			削減率⇒	1.5%削減	1.8%削減	2.0%削減
		現場	58.0	57.1	57.0	56.8
環 4 境有 活益 動な	①環境ボランティア活動の取組推進	全社	10回/年	10回以上/年		
	②環境配慮の取組推進	全社	環境経営計画 を遵守	環境経営計画を遵守する		

※一般廃棄物は、全社の最終処分量(可燃ごみ＋不燃ごみ)の削減目標管理に改訂した。

※化学物質の使用、購入、保管、移動ともありません。

※リサイクル率＝（再利用＋再生利用＋熱回収）÷総排出量×100

※二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定した。

		排出量 (kg-CO ₂) = (A×B)	
	使用量 (A) 及び その(単位)	排出係数 (B)	
購入電力	(kWh)	0.389	(kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	(L)	2.32	(kg-CO ₂ /L)
軽油	(L)	2.58	(kg-CO ₂ /L)

R05.1.24環境省公表
2017年版環境への負
荷の自己チェックに合
わせた。

4. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。実績値は、2023年度運用期間（7月～6月）の12ヶ月で、目標値は2020～2022年度実績平均の同期間の削減率とする。

取 組 項 目			2023年度目標値 (2023年07月～ 2024年06月)	2023年度実績 (2023年07月～ 2024年06月)	達成率	判定	
省エネルギー項目	1 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		事務所	7,225	7,135	101.3%	○
			現場	127,866	109,982	116.3%	○
			全社	135,091	117,117	115.3%	○
			*事務所の灯油を含む総排出量 118,602.06 kg-				
	①電力使用量の2.3%削減 (kWh)		事務所	12,112	11,872	102.0%	○
			現場	7,279	2,983	244.0%	○
			全社	19,391	14,855	130.5%	○
	②ガソリン使用量の2.3%削減 (L)		事務所	1,084	1,085	99.9%	×
			現場	10,392	10,371	100.2%	○
			全社	11,476	11,456	100.2%	○
	③軽油使用量の2.3%削減 (L)		全社 (現場)	39,118	32,853	119.1%	○
2 廃棄物の削減と 建設副産物の 適正処理		①一般廃棄物の2.3%削減 (kg)	全社	252.7	234.0	108.0%	○
		②建設副産物の 再資源化率の向上	現場	環境経営計画を遵守し 再資源化率95%以上 を目指す	環境経営計画の遵守 〔総排出量295.1 t〕 リサイクル率92.8%	97.7%	—
3 水資源使用量の2.3%削減 (m ³)			現場	57.1	46.1	123.9%	○
4 有益な環境活動	① 環境ボランティア活動の取組推進		全社	10回以上	18回	180.0%	○
	② 環境配慮の取組推進		全社	環境経営計画 を遵守する	環境経営計画 を遵守できた	—	○

※ 購入電力のCO₂排出係数は、九州電力の調整後排出係数0.389 (kg-CO₂/kWh)を使用しました。

※ 項目1～3の達成率（目標/実績）が100%以上で、判定は○とする。

※ 項目4－①の達成率（実績/目標）が100%以上で、判定は○とする。

※ 項目2－②の再資源化率の向上は、95%を目指しますが、工事の内容で達成できない場合もあるので、判定はしない。

5. 環境経営計画とその取組結果及び評価

2023年度の環境経営計画とその取組結果及び評価は下記の通りです。
尚、活動期間は、2023年7月1日～2024年6月30日です。

取組項目		活動内容	取組結果	評価
1 二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底	冷暖房器具など電力使用の現場が少なく目標達成できた。不必要の電力使用を全社員が意識して取組むことができた。	○
		②空調設備等の定期的なフィルター清掃に努める		○
		③扇風機の併用でエアコンの利用の抑制		○
	②ガソリン使用量の削減	①前車との車間距離をとり、無駄な加速減を行わない	オイル交換など定期点検を行い、効率の良い配車をし折り返し運転をなくすことができた。	○
		②効率の良い配車		○
		③タイヤの空気圧など、車両点検・整備と徹底		○
	③軽油使用量の削減	①重機などのフルパワー操作防止（アクセルは8割程度）	基準値と比べて重機中心の現場も減ったため目標達成できた。今後も車両や建設機械の点検整備と効率的な動作を徹底していく。	○
		②適正な車両の配置		○
		③車両や建設機械の点検整備の徹底		○
2 廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①廃棄物の分別計量と排出表への記録	資源ごみの古紙回収でリサイクル品（トイレットペーパー）を作成。今後も分別廃棄を徹底していく。	○
		②裏紙使用、集約コピーに努める		○
		③ファイルと用紙を分別して古紙回収へ		○
	②建設副産物の再資源化率の向上	①建設副産物の再資源化率の向上に努める	建設副産物の再資源化率の向上に努めることができている。今後も資材置場を整理整頓し再利用できる資材も活用していく。	○
②廃棄物保管場所へ仕切り設置による分別推進		○		
③資材置場の整理整頓による資材の再利用推進		○		
3 水資源使用量の削減		①使用時はこまめな蛇口の開閉及び閉め忘れ防止の徹底 ②車両や建設機械の洗車は必要最小限にとどめ出来るだけ短時間で済ませる	水を使用する現場が少なく目標達成となった。こまめな蛇口の開閉を徹底し元締のバルブはその都度締めるようにする。	○ ○
4 有益な環境活動	①環境ボランティア活動の取組推進	①本社及び現場周辺の環境美化活動	道路清掃、橋清掃などのボランティア活動に参加できた。今後も積極的に活動していく。	○
		②地域の環境ボランティア活動への参加		○
	②環境配慮の取組推進	①環境に関する研究・講習への参加	水辺工法研修会への参加ができ、現場では地域住民へ環境対策などの説明を行った。今後も環境配慮に取組んでいく。	○
		②環境配慮型重機等の利用 ③事務用品はグリーン商品を優先的に使用		○ ○

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度(2024年度)の環境経営目標及び環境経営計画は下記の通り取組みます。

(実施スケジュールの年間は、7月から翌年6月です。)

次年度の環境経営計画					次年度の 環境経営目標
取組項目	活動内容	推 進 責任者	実施スケ ジュール		
1 二酸化炭素排出量の削減	①省エネ活動の推進	EA21 責任者	①年間	環境経営目標は、5ページに詳細を掲載しています。	
省エネルギー項目	①電力使用量の削減	①不在箇所・不在時などの電源オフの徹底 ②空調設備等の定期的なフィルター清掃に努める ③扇風機の併用でエアコン利用の抑制	土木部 佐藤 総務部 佐藤		①年間 ②年間 ③年間
	②ガソリン使用量の削減	①前車との車間距離をとり、無駄な加減速を行わない ②効率の良い配車 ③タイヤの空気圧など車両点検・整備の徹底	土木部 佐藤		①年間 ②年間 ③年間
	③軽油使用量の削減	①重機などのフルパワー操作防止(アクセルは8割程度) ②適正な車両の配置 ③車両や建設機械の点検整備の徹底	土木部 佐藤		①年間 ②年間 ③年間
2 廃棄物の削減	①一般廃棄物(最終処分量)の削減	①廃棄物の分別計量と排出表への記録 ②裏紙使用、集約コピーに努める ③ファイルと用紙を分別し古紙回収へ	土木部 佐藤 総務部 佐藤		①年間 ②年間 ③年間
	②建設副産物の再資源化率の向上	①建設副産物の再資源化率の向上に努める ②廃棄物保管場所へ仕切り設置による分別推進 ③資材置場の整理整頓による資材の再利用推進	土木部 佐藤		①年間 ②年間 ③年間
3 水資源使用量の削減	①使用時はこまめな蛇口の開閉及び閉め忘れ防止の徹底 ②車両や建設機械の洗車は必要最小限にとどめ出来るだけ短時間で済ませる	土木部 佐藤	①年間 ②年間		
4 有益な環境活動	①環境ボランティア活動の取組推進	①本社及び現場周辺の環境美化活動 ②地域の環境ボランティア活動への参加	土木部 佐藤		①随時に実施 ②随時に実施
	②環境配慮の取組推進	①環境に関する研究・講習への参加 ②環境配慮型重機等の利用 ③事務用品はグリーン商品を優先的に使用	土木部 佐藤		①年間 ②年間 ③年間

特記：環境経営目標は、2023年度から始まる第五次中期（2023～2025年度）を掲載しています。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下表のとおりです。

主な法規名	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2・D票-90日、E票-180日以内) A票の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源化により得られる資材の使用	遵守
フロン排出抑制法	定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施 (重機搭載のエアコンを含む)	遵守
再生資源利用省令	再資源利用計画書・実施書の作成 再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
騒音規制法	知事へ7日前までに届出 作業敷地境界にて85デジベル以下	該当なし
振動規制法	知事へ7日前までに届出 作業敷地境界にて75デジベル以下	該当なし
大気汚染防止法	特定工事の場合、工事の受注者は特定工事に該当するか否かを調査し、 発注者に書面で説明。調査結果記録の保存	該当なし
浄化槽法	定期清掃(年1回)、保守点検(年3回)の実施 法定検査(第11条)の実施	遵守

当社の事業に係る主な環境関連法規は、担当者が定期的にWeb（環境省ホームページ「環境基準・法令等」）の改訂履歴や建設業協会等からのお知らせ等から年次の運用開始時に見直しと取りまとめを行ってま

す。関連法規の遵守状況確認を毎年4回実施しており、違反はありませんでした。

また、地域住民からの訴訟等及び監督官庁からの指摘もありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価と指示〔○当年度の評価 ●次年度への指示〕
①環境活動計画の実施状況及び 環境目標の達成状況	○環境経営計画・実施状況管理表及び環境経営目標進捗管理表で 確認した。当年度の環境経営計画は全社で実施されている。現 場での電力使用量が目標達成しているが、ガソリン使用量で目 標未達成がある。 また、事務所で電力使用量が目標達成できなかった期間があ り、ガソリン使用量も目標未達成となった。 水使用量においても削減できなかった期間があった。 ●次年度は第五次中期の2024年度の目標値で運用し、 環境経営計画で見直すべき取組項目があれば改訂するように。
②環境関連法規等の遵守状況	○環境関連法規の取りまとめ(兼)遵守評価表で確認した。当社に 関する法規等は随時に取り纏められすべて遵守している。 ●次年度も当社に関する法規を念頭に置き遵守するように。
③外部からの環境に関する苦情や要望等	○環境情報記録表で確認した。苦情・クレームがなく、ボラン ティア活動もできていたので良かった。 ●次年度も苦情や依頼等があった場合は早急に対応し、地域貢 献活動等に積極的に参加していくように。
④環境経営方針	○●2017年版へ移行した2019年度と2020年度で改定したの で特に不具合が無ければ改定せず継続する。
⑤実施体制	○●8月に代表者の変更があるので改定する。
⑥環境経営システム(その他全般)	特になし。